

平成28年度 自己評価結果公表シート

学校法人 常楽寺学園 認定こども園 穂積幼稚園

1. 本園の教育目標

[保育目標] 生活・あそび・行事を通して
意欲や興味を育てる
豊かな創造性・感性を育てる
良心を大切に守り、育む
よく考える力・学びへの意欲を育てる

[保育理念]
子どもの そのままの姿を受けとめよう
いきいきと取り組んでいる姿や 熱中した状態を大切にしよう
たくさん抱きしめよう
たくさん失敗ができる場所にしよう
「ほんものがもつ力」を大切にしよう
みんなで 子どもの成長や発達を喜び合い 協力し合いながら成長しよう

[先生が大切にしたいこと]
子ども一人ひとりが 自分からやれる環境を用意し、遊びたくなる環境、いきいきと取り組みたくなる環境を工夫します
子ども一人ひとりを たくさん抱きしめ 心に寄り添います
保育者は 真・善・美の価値観を意識し 子どもにとって 心の拠り所として よき理解者支援者として 共同作業者として
遊びでの援助者として あこがれの存在になります
保護者とともに 子どもの成長や発達を喜び合い 大人も子どもも 協力し合いながら成長できる環境を用意します

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念、教育目標、幼児教育要領をより深く理解し、生活教育としての基盤をより深いものになるための振り返りを積極的に行う。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

| 評価項目 | 取組み状況 |
|-----------------------------|--|
| 新たに施行された法律や条例 幼稚園教育要領の理解 | 制度改革により新たに施行された法律や条例の理解を深める研修やワークショップを行ったが国・府・市の通知が想像以上に膨大だったことなどから、十分に理解することは難しかった。平成30年度頃には幼稚園教育要領が改定されるという動きがでているため、次年度も再掲する。 |
| 保育者としての専門性に関する 研修・研究 | 幼児の発達理論や一人ひとりの子どもの特性や個性、思いを共感し、理解を深めるための取り組みを行った結果、教職員一人ひとりの子どもへ関わり方や子どもを見る視点がより対等性を意識するようになった。 |
| 幼児教育のアクティブ化 | 創造展などの子ども達が話し合いで決めることを主体とした行事を計画することで、友達と協働して作り上げていく喜びや自らが主体的に粘り強く友達と作り上げていくことを実践することができた。 また、園庭に設置した「アトリエ」や「あそびたいけんリーダー」の活躍により、子どもの興味や関心を主体とした誘導保育を行うことができた。 今後は、非認知能力を育むためにも、運動会や発表会などの行事でも子ども達自らが主体的に話し合い、作り上げていけるように計画を見直す必要がある。 |

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>認定こども園に移行による 行事の見直し</p> | <p>避難訓練の回数が毎月1回になり、様々な状況で行うことや、最終学期には子ども達や職員に知らせずに行う訓練なども行うことができるなど能動的な訓練ができた。 内科検診、歯科検診、眼科検診においても園医が行い、専門的な視点で健康状態を見ることができた。 また、看護師が配置されたことで、日頃保育教諭が行っていた検診をよりきめ細やかに行うことができた。さらに、特別支援やケガの処置など専門性のある対応力で迅速に処置することができるようになった。保護者との健康相談も行うなど支援面も充実した。</p> |
|--------------------------------|---|

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| |
|---|
| <p>取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取り組み状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができた。</p> |
|---|

5. 今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|-------------------------------------|---|
| <p>新たに施行された法律や条例 幼稚園教育要領の理解</p> | <p>制度改革により新たに施行された法律や条例の理解を深めると共に、幼稚園教育要領を再確認し、職員間で話し合い、理解に努める。 また、非認知能力などの「教えることができない能力」の理解や教育方法の理解を深める。</p> |
| <p>幼児教育のアクティブ化</p> | <p>今後はすべての行事についても、「子ども達が話し合いで決めること」や「友達と協働して作り上げていく喜びや自らが主体的に粘り強く友達と作り上げていくこと」ができるように計画を見直す。 また、園庭に設置した「アトリエ」や「あそびたいけんリーダー」の活動内容等を検討する。</p> |
| <p>食育活動の充実を図る</p> | <p>給食業者を変更することにより献立や栄養バランスの改善を行うことができた為、保護者の評価アンケートの結果も改善することができたが、園全体での食育や食農体験が少ないため、今後は栄養士と共に計画を見直し、内容を充実する。</p> |
| <p>保健活動の充実を図る</p> | <p>看護師が配置されることで、日頃保育教諭が行っていた検診をよりきめ細やかに行うことができるなど、特別支援やケガの処置など専門性のある対応力で迅速に処置することができるようになったが、今後は「いのちのお話」などの保健活動の取り組みを充実する。</p> |
| <p>職員の労務環境の整備</p> | <p>保育教諭の時間外労働が未だに多く、保育教諭の負担が非常に多い現状があるため、記録や計画、保健情報などを電子化及びネットワーク化することで労働環境の改善を図る。</p> |

6. 学校関係者の評価

| |
|-----------------------------------|
| <p>特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。</p> |
|-----------------------------------|

7. 財務状況

| |
|--|
| <p>認定こども園に移行後(平成28年度)からは豊中市の行政監査(公認会計士監査含む)を行う予定である。</p> |
|--|